

## PDF 作成支援ツールでエラーが発生する場合

PDF 作成支援ツールでエラーが発生する場合以下の設定を見直して再度お試しください。

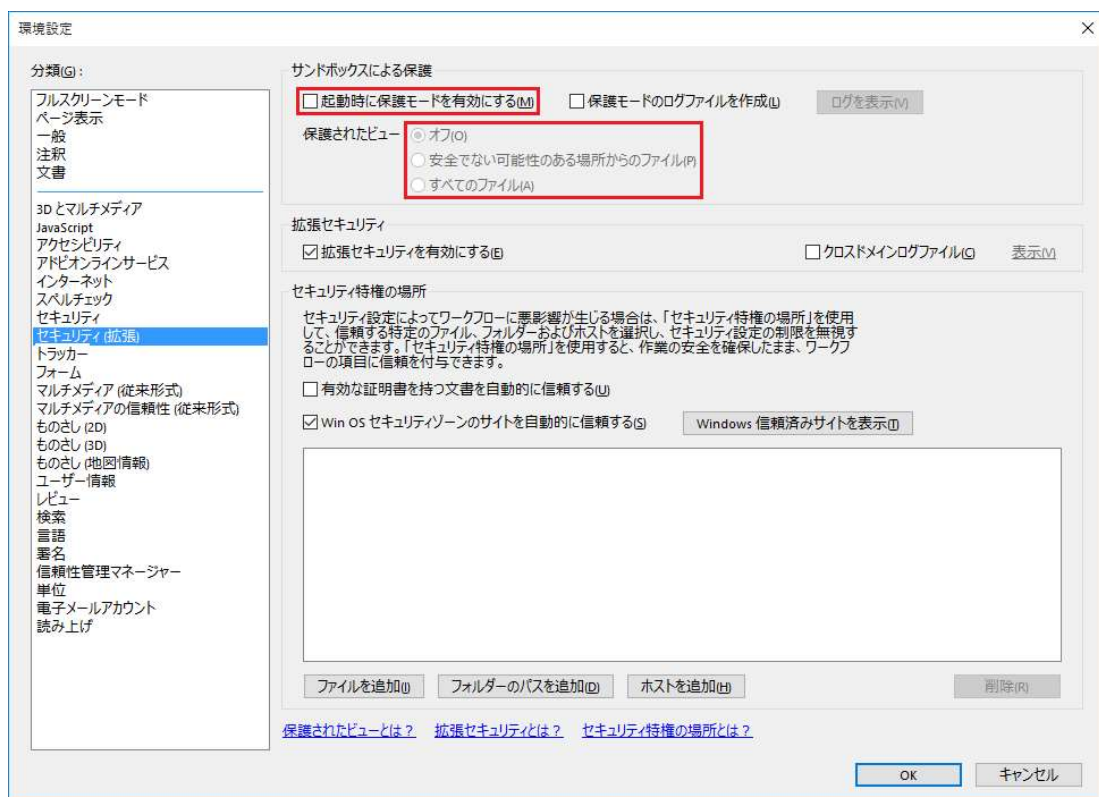
### ① アクロバット DC のセキュリティ設定の確認

PDF 作成支援ツールやしおりの再設定を行うためには以下の設定をする必要があります。

- ・ アcroバット DC のセキュリティ設定

下記の手順にて「起動時に保護モードを有効にする」がオフとなっていることを確認し、オフになっていない場合はオフにしてください。

- (1) アcroバットを起動し、メニューから「編集」→「環境設定」を選択。
- (2) 分類リストの「セキュリティ(拡張)」を選択。
- (3) サンドボックスによる保護「起動時に保護モードを有効にする」をオフ
- (4) OK をクリックして設定を保存



## ②PDF 作成支援ツール使用、納品イメージ出力時は事前に Acrobat を起動して、何か別のファイルを開いておく

Acrobat の 2022 年のリビジョンから、弊社 PDF ツールのような外部アプリケーションが OLE オートメーションでアクロバットを起動できなくなっております。

これまでは PDF ツールで処理時に自動でバックグラウンド起動し作業完了後自動終了させていましたが、現状は Acrobat 側の制限により自動制御が行えなくなっております。

### ■対応

・PDF 作成支援ツール使用時や納品イメージファイル出力時に、事前にバックグラウンドで Acrobat を起動させて、何でもいので PDF を開いておく

※開く PDF は納品出力ファイルそのものではないファイルとしてください。

## ③32bit 版 64bit 版それぞれに合ったプラグインファイルがインストールできているか確認する

PDF 作成支援ツールの動作には、専用のプラグインファイル api ファイルが指定場所に配置されている必要があります。

### ◎32bit 版 Acrobat の場合はこちら

アクロバットの plugin フォルダ

C:\Program Files (x86)\Adobe\Acrobat DC\Acrobat\plug\_ins のフォルダの中に

**CALSPDFS2.api** があるかどうか

### ◎64bit 版の場合はこちら

アクロバットの plugin フォルダ

C:\Program Files\Adobe\Acrobat DC\Acrobat\plug\_ins のフォルダの中に

**CALSPDFS2x64.api** があるかどうか

※api ファイルが正しく配置されてない場合、正常に動作しません。

その場合は api ファイルを手作業で配置することで動作します。

※Acrobat DC は Adobe 社の自動更新で、32bit 版から 64Bit 版に自動で更新される場合があります。上記 64Bit 版のフォルダがある場合は、Acrobat DC が 64bit 版に更新されています。

## ■作業手順

を取得していただき、解凍してできる

CALSPDFS2.api

CALSPDFS2x64.api を使用します。

◎64bit 版の場合はこちら

## アクロバットの plugin フォルダ

CALSPDFS2x64.api のみをコピーしてください。

◎32bit 版の場合はこちら

## アクロバットの plugin フォルダ

CALSPDFS2.api のみをコピーしてください。

※異なる api ファイルを配置すると動作しませんのでご注意ください。

(例えば両方の api ファイルを入れてしまうと実行時エラーとなり動作しません)

[illegible]

#### ④分割対象としている PDF の生成方法に要因がある可能性

取得ができない、「PDF にしおりがありません。」と表示される場合

合があります。

た PDF で再度キヤルシストへの登録からお試ください。

手順: [https://sk-isv03.com/cal/skcal/user/objectlevel\\_off.pdf](https://sk-isv03.com/cal/skcal/user/objectlevel_off.pdf)

### ⑤その他の要因

対象の PDF 自体の生成方法に問題がある可能性を考慮ください。